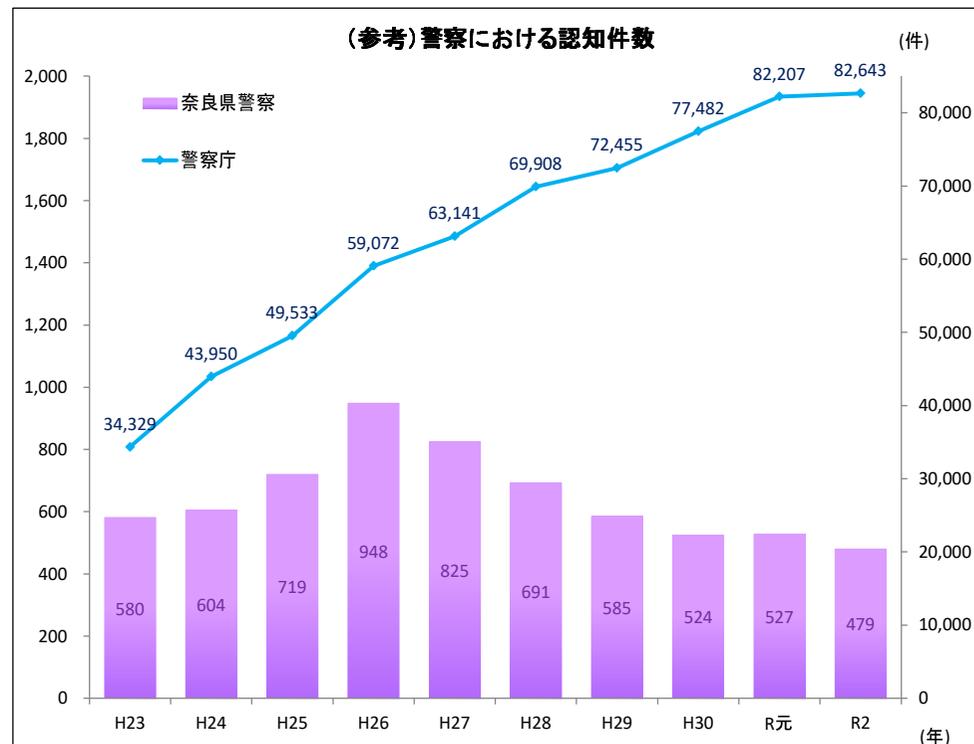
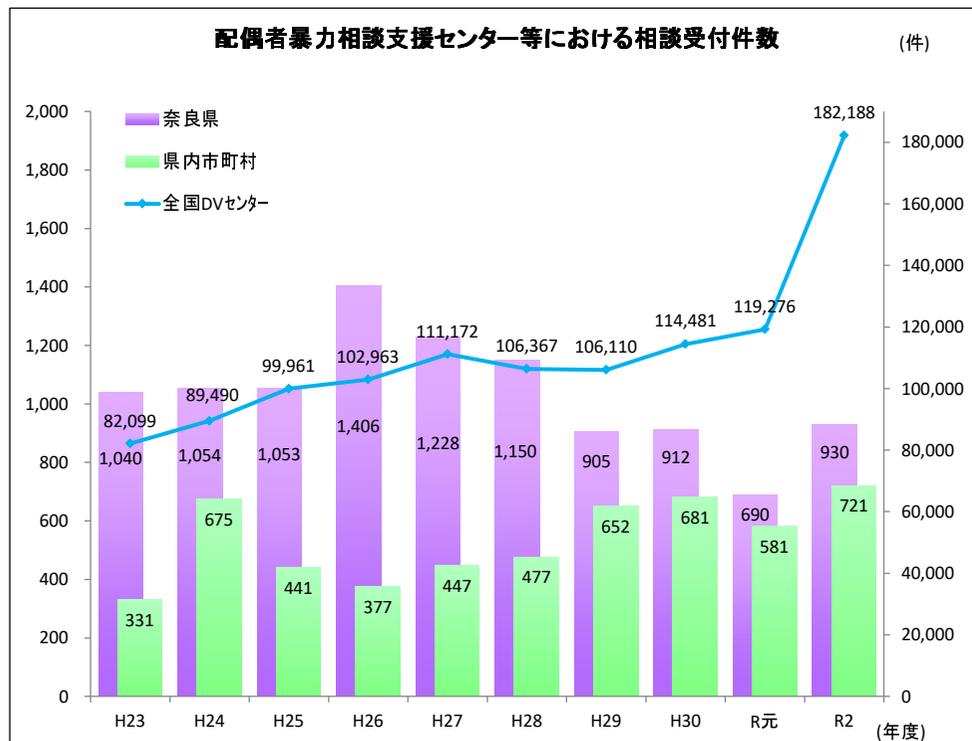


令和2年度奈良県のDV相談受付件数の推移



・奈良県における令和2年度の相談受付件数は、930件であり、前年度に比べ、240件（34.8%）増加した。

※奈良県数値は、中央こども家庭相談センター（配偶者暴力相談支援センター）、高田こども家庭相談センター、女性センターの合計。

※全国配偶者暴力相談支援センターの相談受付件数については、R2年度より開始された「DV相談プラス」での相談件数を含む。

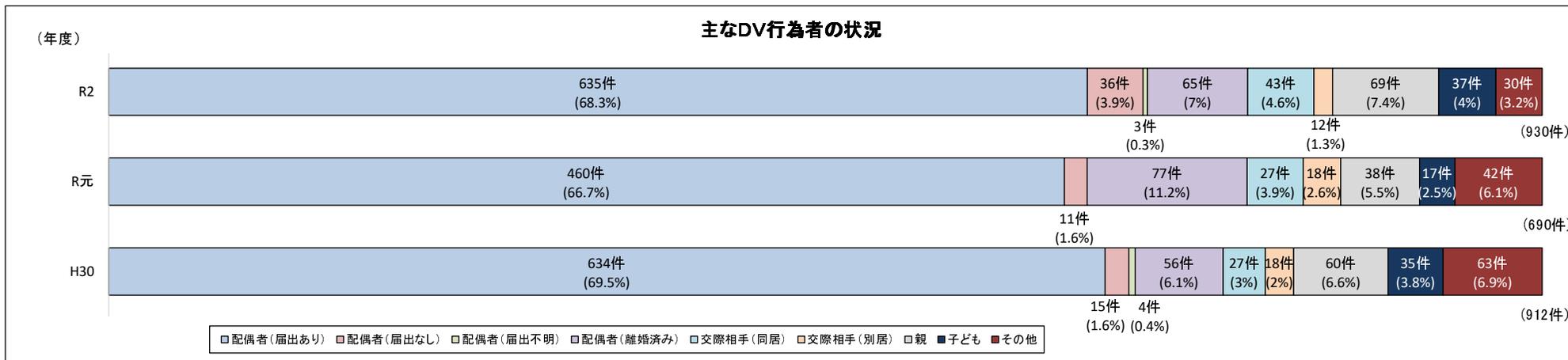
参考添付：警察における認知件数

・奈良県警察における令和2年の認知件数は、479件であり、前年に比べ、48件（9.1%）減少した。

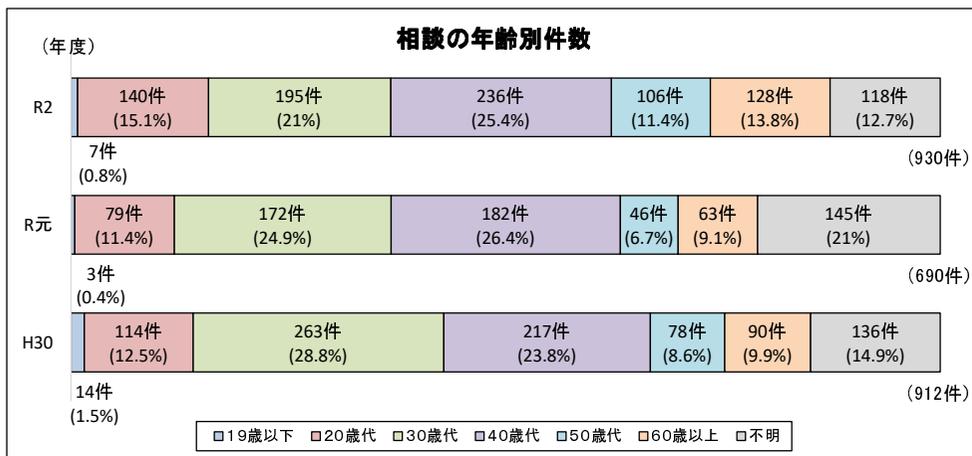
・警察庁（全国警察認知件数の合計）における令和2年の認知件数は、82,643件であり、前年に比べ、436件（0.5%）増加した。

※警察における認知件数は、当該年の1月～12月における認知件数の合計。

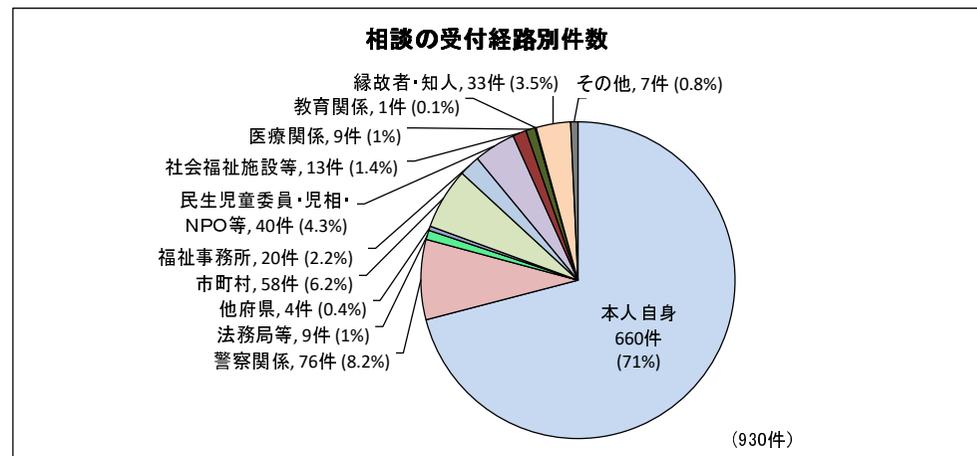
○奈良県が受付したDV相談相談件数の状況



- ・奈良県における令和2年度の相談の主なDV行為者は、「配偶者（婚姻届出あり）」が635件（68.3%）で最も多く、次いで「親」が69件（7.4%）。
- ・前年度と比較すると、「配偶者（離婚済み）」が12件減少し、「配偶者（届出あり）」が175件増加した。



- ・奈良県における令和2年度の相談の年齢別件数は「40歳代」が236件（25.4%）で最も多く、次いで「30歳代」が195件（21%）。
- ・前年度と比較すると、「60歳以上」が65件、「20歳代」が61件、「50歳代」が60件増加した。



- ・奈良県における令和2年度の相談者の受付経路は、「本人自身」が660件（71%）で最も多い。